

◇第2回検討会議結果概要◇

- ◇ 日 時 平成21年7月1日（水）午後2時～午後4時20分
- ◇ 場 所 市場管理事務所 3階大会議室
- ◇ 出席者 委員13名 事務局6名
- ◇ 欠席者 委員1名

- ◇ 議 題 (1) 福井市中央卸売市場強化対策検討懇話会の答申概要等
(2) 先進地の活性化事例の紹介
(3) 市場内業者等へのアンケート調査について

◇ 議事経過

委員長による開会挨拶後、事務局より資料をもとに、議題（1）（2）（3）について説明をおこないました。説明後、各委員より議題について意見の交換がおこなわれました。

◇ 主な質疑内容

【議題（1）での意見交換】

・答申を受けての取組結果が、3項目だけとは淋しい。

・答申内容と現状には、大きな隔たりが感じられる。目標が曖昧である。

Q. 答申を受けて取組まれた結果にあげられている、市場フェスタ開催後、業者の意識変化は？

A. (事務局)

意識的には少しずつ変わりつつある。

開設者としては、企業紹介、小売支援の場になればと思っている。

(事業者)

普段接することのできない、最終ユーザーの声が聴けたことは大変有意義であった。

Q. 懇話会時に、築地のような開かれた場外のゾーンを設けるとかの検討はされたのか？

A. 場内開放を念頭に協議されたので、場外の検討はしていない。

【議題（2）での意見交換】

・通常の主要業務であると思っていることが、先進事例として取り上げられている（魚等の品物に付加価値をつける等）ことに違和感を感じる。

・出荷者サイドからみると、市場流通は必要不可欠なものであると思っているが、反面、直接、量販店と結び付こうという動きもあり心配している。

Q. 行政サイドとして、課題や現状に対して、こういうことを考えているから、この事例



を挙げたとういことを明確にした方がよいのではないか？

A. 基本的には答申を具現化していると思われるものを挙げさせていただいた。新しい活性化策の参考になればと思っている。

- ・具体的で戦術的な事例が先にあると検討積み上げがしづらい。設置趣旨にそって、全体戦略から入った方がよいのではないか。
- ・中央卸売市場の法律に縛られた状況では、今後売り上げを伸ばしていくのは難しいと思うので、ドラスティックに考え方を変えていくことが必要ではないだろうか
- ・公設制も含めて、ドラスティックな方向を考えると、選択肢は二つあると思う。現在の中央卸売市場制度の中でおこなうものと、地方化の中でおこなうことの二つ。

【議題（3）での意見交換】

- ・中身が我々の思いとは違う。
ユーザーと出荷者に対しての質問が同じであることが考えられない。
- ・地域特性を活かした戦略をたてるのだと、新たな市場機能のあり方を研究するのだという事に役立つような調査内容であるべきである。
- ・以下、細部の修正について多数の意見。

◇ 次回検討会議

第3回検討会議は、アンケート内容の修正、集計等の日程を考慮した上で、8月上旬を目処に開催する。

本会議は、市場の今後についての重要な検討の場であるから、市場内部団体からの推薦を受けた委員については、次回会議から、万が一欠席となる場合には、代理出席を認めることで各委員より了承を得た。